

農委会報

第52号

令和5年度

新庄

編集・発行

令和6年1月4日

新庄市農業委員会

☎0233-29-5839(直通)



2024年4月、新庄市内に東北初の公立農林業系専門職大学である東北農林専門職大学が開学します。この大学では農林業の生産や経営の知識と、理論に裏付けられた技術、加工・販売、建築、観光などの関連分野の知識、SDGsなど教養を学ぶことができます。また、キャンパスの一部を住民に開放するなど、地域との交流も計画されています。最上地域初の4年制大学ということで今後様々な活躍が期待されます。

目次

- ・新庄市農業委員会の紹介……………2・3ページ
- ・会長・職務代理の就任のごあいさつ……………4ページ
- ・令和5年度の活動……………5ページ
- ・事務局からのお知らせ
- 編集後記……………6ページ

新庄市の農業委員・農地利用最適化推進委員

新庄市長より任命された農業委員19名と、新庄市農業委員会より委嘱を受けた農地利用最適化推進委員8名の総勢27名体制で本市農業・農村の発展に取り組んでまいります。

 = 農業委員

 = 農地利用最適化推進委員

萩野班

萩野班

齋藤 謙二



今後も農業を取り巻く状況は、厳しくなるのではないかと考えています。現状の営農形態を維持しつつ、少しでも農業経営が好転する様、諸先輩方や関係機関との連携を密にして地域振興に努めて参ります。

班長 星川 吉和



この度、農業委員三期目を務めさせて頂くことになりました。地域の皆様のお力を借りながら頑張りますのでよろしくお願いいたします。

奥山 久



この度、萩野地区より農業委員となりました。農業を取り巻く情勢が厳しさを増す一方ですが、地域の皆さんと協力し問題を考えてながら、農業経営が持続し、農地利用の最適化を目指して務めてまいります。宜しくお願いします。

早坂 浩樹



近年の人口減少による担い手の高齢化や後継者不足という問題に直面し農地利用の最適化も、さまざまな問題をかかえている中、各地区それぞれの持続可能な地域農業の実現を目指してみんなで頑張っていきたいと思います。

指村 貞芳



農業を取り巻く状況・環境をふまえ、これからの私たち地域、農業をより良くするため、皆様方のお力を借りながら頑張っていきたいと思います。

伊藤 正美



農地利用最適化推進委員を引き受けて、二期目になります。農業を取り巻く環境は厳しさを増すばかりですが、農地を将来に継承していけるように一端を担っていければと思います。

松浦 洋一



全国的に遊休農地の問題、農業従事者の高齢化、担い手不足等農業を取り巻く情勢はより厳しい現状にあります。そんな中、問題解決に向け地域の人達と手を取り合い頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

笹 寿明



持続可能な地域の有り方を念頭に、各地域の委員と力を合わせながら、営農者の皆様と共に、農地利用最適化「地域営農」に取り組んでまいりたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

稲舟班

班長 下山 秀一



この度、地区推薦により農業委員を拝命致しました。今期は特に、農地の有効活用についての話し合いを重ね、将来に希望が持てる環境作りに取り組んで参ります。皆様のご理解とご協力を宜しくお願いします。

高山 光弥



この度、農業委員二期目を務めさせて頂く事になりました。大切な農地の維持、発展にむけ地域の皆様や関係機関と対話も含め協力し合いながら問題解決に取り組んでいきますので宜しくお願いします。

伊藤 和彦



この度、鳥越地区より推薦頂き農業委員一期目を務めさせて頂きたくてまいりました。農家の皆さんや農地利用最適化推進委員の方々と共に農地の有効利用の確保に向け努力していきます。担い手が農業をしやすいように努めていきたいと思っています。

海藤 芳正



この度、再度農地利用最適化推進委員に就任いたしました。身近に迫る農業従事者の高齢化と担い手不足にどう対応していけばよいのか。これまでの経験を活かし、諸先輩の方々と関係機関と連携しまい進したいと存じます。

新 庄 班

五十嵐成生



今回で二期目となります。前回同様、農地パトロールの徹底と、地域の人々とのコミュニケーションを図り、遊休農地の調査ならびに対応をしていきたいと考えております。また、今期は地域計画の作成という大きな課題があります。こちらも地域の人々と話し合いながら取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力宜しくお願い致します。

星川 秀男



二期目を迎え、委員としての役割がいかに大切なのかが見えてきました。人・農地プランが地域計画の法定化になり耕作者の高齢化が進む中残された農地を引き受ける担い手をいかにして確保し守っていくなどの課題が多くありますがより良い方向に進むようがんばります。

星川 豊



荒廃農地の改善に努め、農地行政の執行、伝達に頑張っ
てまいりたいと思います。

班長
森 良一

今回の選任で三期目を務めることになりました。今後農業委員会が担う役割や活動が重くなりますが、関係者と協力しながら役割を果たしたいと思
います。

三原 康志



この度、農地利用最適化推進委員になりました、小泉の三原です。これからの農業は、人口減少による担い手の高齢化、後継者不足という問題、米価下落・資材高騰など、農業を取り巻く環境が厳しくなると思いますが、農業委員とともに地域の農業が良くなるように頑張
って行きますのでよろしくお願いします。

中鉢 浩



今期より農業委員を務めさせて頂く事になりました。新庄市の農地をより良い形で次の世代に残せるように活動していきたいと思
います。農家の皆様には丁寧、公平な対応を心掛けていきます。気軽にお声掛けくだ
さい。

三原 幸一



稲作を約20ha経営しています。地区外のほ場が多いのが課題で、集約化の必要性を感じています。同じように課題を抱えている人は多いと思うので、少しでも解決の手助けができるよう、勉強していきたいと思
います。

今田 供明

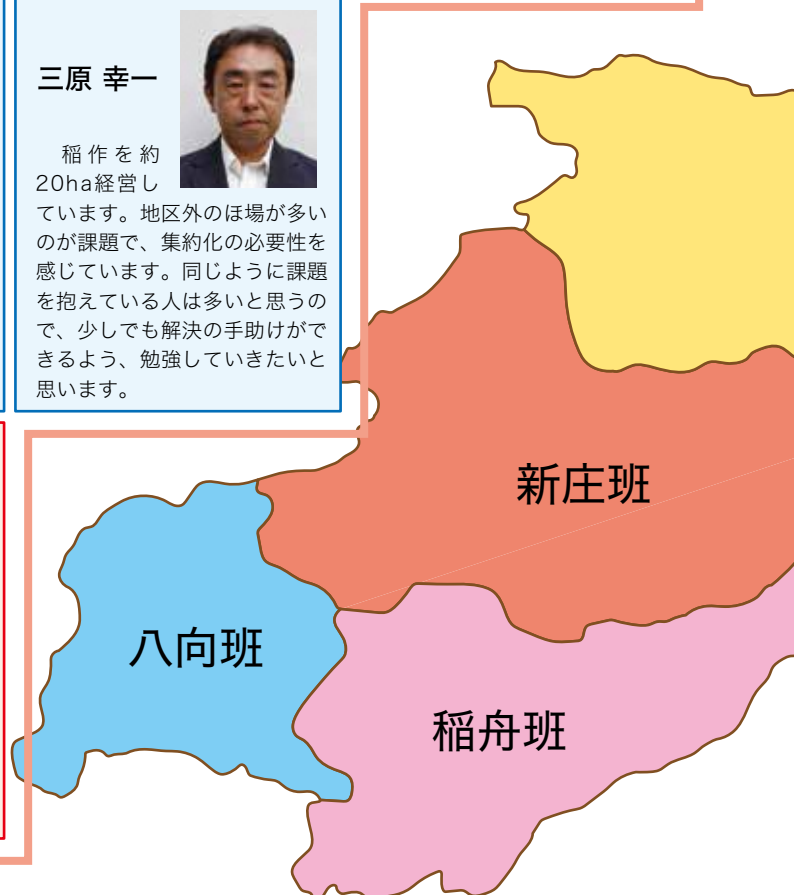


地域計画が法定化され地域で策定する事が求められています。地域の農地や営農等様々な問題に話し合いを重ねて将来の地域や農業のあり方を希望の持てる計画に表せるよう尽力していき
たいと思います。

村形 了一



初めて農業関係の大きな役職に付きましました。まだまだわからない事だらけですが、少しでも皆様のお役に立てる様に努力していき
たいと思います。



八 向 班

班長
田宮 成彦

この度、二期目を務めさせて頂くことになりました。農業従事者の高齢化や担い手の減少等、農業を取り巻く環境は厳しさを増していますが地域の皆様の協力を頂きながら頑張りたいと思
いますのでよろしくお願いします。

佐藤喜代志



異常気象による度重なる自然災害での農作物被害、農業者の高齢化並びに後継者不足など地域農業の課題は山積の中、農業者の声を広く聞き、農業の発展に結び付けていく取り組みを農業委員として鋭意努力して参
ります。

松田 浩一



今期より農業委員として活動させて頂くことになりました。農業を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、農家の皆様の御協力を仰ぎながら地域の農業発展の為に頑張っ
てまいりますのでよろしくお願いします。

清水 哲夫



この度、農地利用最適化推進委員になりました。農業委員のみなさんとともに地区の人たちと協力し合い頑張りたいと思
いますので、どうぞよろしくお願いします。

就任のごあいさつ



新庄市農業委員会

会長 浅沼 玲子

(稲舟班)

新年あけましておめでとうございます。皆様には、日頃より農業委員会活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年7月の改選により新たな体制となり、引き続き3年間、会長の職務を務めさせていただくことになりました。農業委員・農地利用最適化推進委員と関係機関と連携しながら、本市農業の発展と、大切な農地を守るため日々活動しております。

昨年は、記録的な猛暑と少雨の影響を受け、一等米比率の低下等、農業経営への大きな打撃となっております。

さらには、ウクライナ情勢や円安による肥料や飼料、燃油の価格高騰・高止まりで、農業を取り巻く環境は、大変厳しい状況が続いています。

また、農業の生産現場では、担い手の高齢化や後継者不足、農地の減少が止まらない状況となっています。

このような中、昨年の4月にこれまでの「人・農地プラン」は、市が策定する

「地域計画」として法定化されました。

農業委員会も「目標地図」の素案作りという役割を担うこととなります。今後は、地域の皆さまと共に話し合いをしながら、将来の農地利用の姿を考えて参りたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年も、食料の生産基盤であります農地を守り、本市の農業振興に、委員一丸となって努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



会長職務代理

笹 行也

(新庄班)

今まで地域農業を支えてくださったいた農業者の高齢化が進み、担い手も減少傾向にある中で少しでも効率的に生産ができるよう集積・集約に努力してまいります。

また、多様な考え方を持つ地域の農業者、地主の方々と共に将来に向けた方針や地域づくり等を進めていきたいと考えています。



長い間で尽力いただきありがとうございました

ご勇退される農業委員・農地利用最適化推進委員の皆様

●農業委員

間 真一氏

丹 茂氏

佐藤 啓右氏

●農地利用最適化推進委員

三原 常男氏

今田 栄二氏

須田 雄二氏



農業委員会の主な取組

- ① 農地の確保と有効利用に向けて取り組みます
- ② 農地等の利用の最適化に取り組みます
- ③ 農業の担い手の育成・確保に取り組みます
- ④ 地域の課題解決に向けて取り組みます

農地の権利移動には農業委員会の許可が必要です！

- ・農地の貸借・売買・贈与を行いたい
- ・農地を転用して農業以外の目的に使いたい

→ 農地法の許可が必要です

まずは農業委員会へご相談ください

申請・報告の締め切り 毎月末日（休日・祝祭日の場合はその前の平日）
農業委員会総会 毎月25日（休日・祝祭日の場合はその後の日）



令和5年度新庄市農業委員会の活動

農地パトロール

農業委員会では、7月20日から約一カ月間、各担当地区の調査員が農地パトロールを行い、農地の利用状況を調査しました。この調査は遊休農地の確認と発生防止のために利用状況を確認するためものです。

農業の担い手の高齢化や後継者不足といった様々な課題がある中で、既に耕作放棄地となった土地などを少しでも解消するため毎年行っています。

農地ナビにより、山間地など立ち入りにくい農地も場所を把握しやすくなりました。しかし、実際行ってみると、管理の困難さを感じる人が多いです。だからこそ、耕作可能な農地をしっかりと維持していくことが大切だと考えさせられました。

(新庄地区 三原 幸一)



最上地区

農業委員会合同研修会

最上地方農業委員会協議会と山形県農地集積・集約化プロジェクト会議による合同研修会を新庄市民プラザ大ホールにて開催しました。当日は最上管内の農業委員をはじめとする農業関係者や一般の方、合計約130名が参加し、熱心に耳を傾けていました。

研修会は2部構成の講演とパネルディスカッション形式で行われました。

1人目の講師は農林水産省の農村着火型プランナーとして、県内外で幅広く活躍されている高橋信博（タカハシノブヒロ）氏。『地域が一体となって取り組む地域計画』をテーマに、地域計画作成の取り組みについてのわかりやすい事例報告がありました。

2人目の講師には山形県農林水産部専門職大学整備推進監の神山修（カミヤマオサム）氏を迎え、『東北農林専門職大学（仮称）の目指すもの』をテーマに、東北初となる農林業系専門職大学の設置意義や特色、施設整備の方針等を学びました。

また、パネルディスカッションでは、高橋講師を座長に『農地利用の最適化と新規就農』をテーマに最上郡内の農業関係者による意見交換が行われ、これからの農業の現状や課題等様々な議論がありました。

(秋野地区 奥山 久)



農業委員会大会

11月13日、令和5年度農業委員会大会が寒河江市市民文化会館で行われ、当委員会では18名が参加いたしました。

大会は、開会行事に始まり、新庄市農業委員会の浅沼玲子会長による農業委員会憲章、農林水産大臣表彰の伝達や永年勤続者表彰も行われました。

講演では「食料・農業・農村基本法の見直しと農業委員会組織の役割」といった内容で農村政策をめぐる最近の動きや農地利用最適化活動のポイント等を確認し、活動事例報告では「地域計画の策定に向けた取り組み」として寒河江市の事例を紹介・解説いただきました。

講演や事例報告を聞き、農業従事者の高齢化、担い手不足、肥料・農薬・資材等の価格の高騰など農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、地域計画策定等を通じ農地の集約、効率的活用に向け努力していきたいと思いました。

(八向地区 松田 浩二)



事務局からのお知らせ

しっかり積み立て、がっちりサポート安心で豊かな老後を

農業者年金に加入しませんか？

農業者の方なら広く加入できる農業者年金にはたくさんのメリットがあります！

- ・ 少子高齢化時代に強い
「積立方式・確定拠出型」
- ・ 自由に選択・変更できる
保険料（月額2万～6万7千円）
- ・ **終身年金** 80歳前に亡くなった場合は
死亡一時金が遺族に支給
- ・ 社会保険料控除などの**税制面優遇**
- ・ 若くから農業の担い手として頑張る人を応援！
保険料の国庫補助を受けられます
※国庫補助を受けるには要件があります
- ・ **積立金がマイナスとならないよう
措置がされます**
不利累計額が万が一マイナスになった場合は不利
準備金を補填し、マイナス相当額が補填されます。

農業者年金に加入できる人は？

- ①国民年金第1号被保険者
- ②年間60日間以上の農業従事者
- ③年齢が20歳以上60歳未満



①～③全て満たす場合は
農業者年金に加入できます!!

くわしくは
お近くの農業委員会
または農協まで
お尋ね下さい！



農業委員会へ相続の 届出はお済みですか

相続等により農地の権利を取得した時は、農業委員会にその旨を届出することが必要となります。

届出をしなかったり、虚偽の届出をした者は、10万円以下の過料に処せられます。

農業委員会では、遠方にお住まいの方が農地を相続し、自身で管理することが困難な場合など、借り手を探すなどのお手伝いをいたします。



農業経営に役立つ情報！

農業経営に役立つ情報が満載、農業の「担い手」の育成やその経営発展に役立ちます。

くらしや生活に役立つ！

「食」や健康、生活のアイデア、趣味など、暮らしや生活に役立つ話題も豊富に掲載していますので、ご家族みなさんでお読みいただけます。
少ない負担で購読できる！

購読料も月700円と少ない負担で購読いただけます。

購読の申し込みは

新庄市農業委員会まで！

(TEL 0233-2915839)

編集後記

令和5年7月改選により新体制での農業委員会がスタートしました。

毎年の様に全国各地で異常気象が発生するのがあたり前になっている中で山形県も統計開始以降で最も平均気温が高い年で農作物の管理が大変だったではありません。苦労の一年だったと思います。

本年4月には東北初の農林業に特化した東北農林専門職大学が開校します。これからの農林業を担う人材が新庄市だけでなく最上郡や県内全体に活気を与えてくれる事を願います。

昨今は激動の年が続いています。本年がもう少し穏やかな一年になってほしいものです。

(稲丹地区 高山 光弥)

農委広報編集委員

三原 幸一委員（新庄班）
高山 光弥委員（稲丹班）
奥山 久委員（萩野班）
松田 浩一委員（八向班）